

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)門真市松生町計画新築工事	階数	地上4F
建設地	門真市松生町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	21,200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,集会所,等	評価の段階	
竣工年	2023年2月 0.0	評価の実施日	2020年12月16日
敷地面積	116,696 m ²	作成者	中川 博之
建築面積	37,155 m ²	確認日	2020年12月18日
延床面積	102,902 m ²	確認者	中川 博之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 内外部を含め施設全体の環境設計に取り組み、周辺環境に配慮とともに地域に貢献できる計画としている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 室内環境は、適切に温度調整ができるよう配慮されている。 CO ₂ 制御を行い、換気量制御を行っている。 照明は無線調光システムや人感センサーを採用し、在室	Q2 サービス性能 福祉のまちづくり条例基準に基づきバリアフリーの計画としている。 高い天井高、階高を確保し快適性に配慮している。 建築仕上及び設備部品の長寿命化を図っている。	Q3 室外環境(敷地内) 地域環境を配慮した外構緑化計画に取り組んでいる。 周辺のまちなみや地域性を考慮した建築計画としている。
LR1 エネルギー BPI=0.93 BEI=0.73	LR2 資源・マテリアル 環境への影響に配慮して再利用や解体、改修が容易な工法を採用し、積極的にリサイクル材を採用する計画としている。また、有害物質を含まない建材を一部採用している。	LR3 敷地外環境 雨水排水の負荷抑制に配慮し特定都市河川地域における浸水被害の防止条例を満たし、周辺の渋滞緩和に配慮し道路の拡幅計画をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0054

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)門真市松生町計画新築工事					
	建設地	門真市松生町					
	用途/区分	物販店 飲食店 集会所 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.5	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.3	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		